

1. 普及啓発・本人発信支援

- 全NCGG職員が認知症サポーターに
- 認知症疾患医療センターでの相談体制構築支援
- 認知症の人の集いの場を提供し、相互交流を支援

3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- 認知症疾患医療センターとの連携推進
- かかりつけ医研修、認知症サポート医、歯科医師・薬剤師・看護師等の啓発事業による認知症対応力向上研修及びその効果検証
- 効果的なケアに関する研究推進
- 認知症リハ開発・体系化、普及啓発
- ACPに関する研究・啓発
- 家族教室の普及
- BPSD予防ガイドラインの作成・周知

5. 研究開発・産業促進・国際展開

- バイオマーカーの臨床応用加速
- 日本版FINGER研究実施
- 日本発疾患修飾薬の開発
- 認知症データベースの整備・活用
- 介護ロボット・センサー・スマートハウスなどの技術開発
- 認知症施策推進に関する国際連携（英国、カナダ、タイ、台湾、ロシア）

2. 予防

- オレンジレジストリのデータ解析
- 運転寿命延伸プログラムの普及
- AIを用いた認知症発症予測モデル
- 認知症予防ガイドラインの作成

4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- 行方不明者の捜索・保護のための社会システムづくり
- 認知症地域支援推進員の活動状況を全国に横展

認知症施策推進大綱	国立長寿医療研究センター (NCGG) のアクションプラン
1. 普及啓発・本人発信支援	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 認知症に関する理解促進 認知症サポーターの養成 (2) 相談先の周知 (3) 認知症の人本人からの発信支援 	<p>NCGG 職員の認知症サポーター研修受講</p> <p>認知症疾患医療センターでの認知症に関する相談体制</p> <p>集いの場(本人ミーティング)の提供と相互交流の支援</p>
2. 予防	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 認知症予防に資する可能性のある活動の推進 (2) 予防に関するエビデンスの収集 国内外の認知症予防に関する論文を収集、認知症予防に関するエビデンスを整理した活動の手引きを作成 介護保険総合データベース(介護レセプト・要介護認定情報等)のデータ活用を促進、科学的に自立支援等の効果が裏付けられた介護の実現、リアルワールドデータ等のデータを収集 (3) 民間の商品やサービスの評価・認証の仕組みの検討 	<p>運動不足の改善、生活習慣病の予防、社会的孤立の解消や役割の保持等の指導</p> <p>運転寿命延伸プログラムの普及</p> <p>論文の系統的レビュー</p> <p>認知症予防に関する取組の実践に向けたガイドラインの作成</p> <p>オレンジレジストリの MCI 班・ケア班によるデータ収集</p> <p>もの忘れセンターデータベースの整備・活用と介護保険総合データベースとの連結</p> <p>AI を用いた認知症発症モデル構築</p> <p>認知機能低下の抑制に関する機器・サービスの評価指標・手法の策定</p>
3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 早期発見・早期対応、医療体制の整備 地域包括支援センターの質の向上 認知症地域支援推進員の展開 	<p>関係機関間と認知症疾患医療センターとの連携促進(あいちオレンジタウン構想)</p> <p>認知症地域支援推進員の研修と先進的な</p>

<p>かかりつけ医、認知症サポート医及び歯科医師、薬剤師、看護師等の啓発 認知症の人のBPSDや身体合併症等への対応</p> <p>医療機関・介護施設等からの円滑な退院・退所や在宅復帰を支援 認知症初期集中支援チーム</p> <p>(2) 医療従事者等の認知症対応力向上の促進</p> <p>(3) 医療・介護の手法の普及・開発 効果的なケアのあり方に関する研究 認知症のリハビリ技法の開発、事例収集及び効果検証 本人の意思決定の支援</p> <p>(4) 認知症の人の介護者の負担軽減の推進 家族教室や家族同士のピア活動を促進</p>	<p>活動の展開 かかりつけ医研修、認知症サポート医、歯科医師・薬剤師・看護師等の啓発事業に参加、効果検証 診断後支援の充実 BPSD予防に関するガイドラインや治療指針の作成・周知</p> <p>地域における退院支援</p> <p>チームの質の評価や向上のための先進的な活動を取りまとめ 相談機能の充実、地域の相談機関との連携</p> <p>かかりつけ医、歯科医師、薬剤師、看護師等に対する認知症対応力向上研修 認知症サポート医養成のための研修、効果検証</p> <p>オレンジレジストリ・ケア班を活用した効果的なケアのあり方に関する研究推進</p> <p>認知症リハビリテーション開発・体系化、普及啓発 認知症の人のACPに関する研究、啓発</p> <p>家族教室の継続 認知症リハビリテーション活動との連携 認知症の人と介護者を同時に対象とした心理プログラムの開発</p>
<p>4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援</p>	
<p>(1) 「認知症バリアフリー」の推進</p> <p>①バリアフリーのまちづくりの推進</p> <p>②移動手段の確保の推進</p> <p>③交通安全の確保の推進</p>	<p>運転寿命延伸による安全運転の継続</p>

<p>④住宅の確保の推進 ⑤地域支援体制の強化</p> <p>⑥企業等の認証制度や表彰 ⑦商品・サービス開発の推進 ⑧金融商品開発の推進 ⑨成年後見制度の利用促進 ⑩消費者被害防止施策の推進 ⑪虐待防止施策の推進 ⑫認知症に関する民間保険の推進 ⑬違法行為を行った高齢者等への福祉的支援</p> <p>(2) 若年性認知症の人への支援 (3) 社会参加支援</p>	<p>行方不明者の捜索・保護のための社会システムづくり</p> <p>成年後見制度の相談窓口・情報提供</p> <p>虐待の実態調査 民間企業との連携業務</p> <p>大府センターとの連携強化 認知症地域支援推進員の活動状況を全国に横展</p>
5. 研究開発・産業促進・国際展開	
<p>(1) 認知症の予防、診断、治療、ケア等のための研究 診断法や治療方法の開発</p>	<p>血液バイオマーカーの開発と臨床使用への橋渡し オミックスデータベースの整備、活用 コホートデータベースの基盤整備 MRI データバンクの創設 レセプト解析システムの構築 認知症の遺伝カウンセリング法の開発 認知症の神経基盤の同定 糖尿病による認知症発症メカニズムの解明 日本版 FINGER 研究による予防法の開発 認知症リハビリテーション法の開発 日本発の疾患修飾薬の開発 血液バイオマーカーを活用したもの忘れセンター・データベース (バイオバンク機能との統合) BPSD 予防法の開発 介護ロボット・センサー・スマートハウス</p>

<p>(2) 研究基盤の構築</p> <p>(3) 産業促進・国際展開 官民連携・イノベーションの創出・ 社会実装 国際交流</p>	<p>などの技術開発 ケア技術の開発 徘徊の調査と社会への提言 大規模コホートでの定期的な住民健診 オレンジレジストリを活用した治験・臨床研究への参加アクセス方法の開発 自動運転等の開発支援 認知症予防介入の社会実装 WW-FINGER ほか国際会議での情報発信 国際会議を定期的に主催 認知症施策推進に関する国際連携（英国、カナダ、タイ、台湾、ロシア）</p>
--	---